



<にぎわいとアメニティの創出>

1. 新旧市街地の共存による双児都市かすかべ

- 東口旧市街と西口新市街は、それぞれの特徴を強化し共生することによって、東西双児都市という個性を獲得します。
- 旧市街は<歴史や伝統文化を再現し継承するまち>として、新市街は<未来を環境共生を先駆けて実現するまち><子育てに最適なまち>としての発展を目指します。



2. 駅=<春日部の中核>、二つの親水空間を結ぶ水脈=<主軸>

- 駅及び周辺ゾーンをまちの中核的空間としてデザインします。
- 区域北縁の大落古利根川河畔は、歴史的観点からの親水プロムナード、区域南縁の用水路(豊武川)を親水公園として整備します。
- 東西シンボル軸の幅広い歩道には並木や植栽、これと調和したせせらぎを形成します。



3. きめこまかな街路網=<線形広場>

- 歩行者優先道路と背割り歩道の連携、要所配置するポケットパークにより線形広場と言うべき回遊網を形指します。



4. 多様な面的仕掛けと効果的な拠点整備による<劇場化>

- 旧日光街道を沿いの商業エリアに<歴史的景観再生ゾーン>、これに隣接して<匠育成ゾーン>を設定します。西口新市街には<起業家育成ゾーン>を設けます。
- 市民や来街者の積極的なまち歩きを刺激する、カーフリーゾーンならびに<かすかべトレイル>を設定します。



<駅周辺ゾーンのデザイン>

<10,000m2 広場>

- シンボル軸と並行する公共空気を、このゾーンの最重要要素として位置づけます。市民は様々なイベントや交流、憩いのための場を熱望しており、<劇場都市かすかべ>の玄関口には、短時間に大量の人的交通をさばく空間が必要不可欠だからです。
- 高架下の部分は市民広場とします。東西の屋外部分は市の木・桐を主題とする緑化公園として整備します。ここにはせせらぎを設けシンボル軸の水脈に繋がります。広場に面する建築物にも、広場と一体的な空間形成の為の協力を求めます。



<駅・高架下=直行軸>

- 高架下には駅交通関連施設、市民ニーズの高い施設群を配置します。

<ザ・リング>

- プラットホーム上屋には、シンボル軸と高架の交点上に、広域的ランドマーク及び情報発信という機能を備えた<リング>を設置します。
- 防風上の外壁はガラスとし、採光と眺望を確保します。桐の花や藤をイメージさせる淡い紫色を施します。

